

年 月 日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

【第11次緊急助成(子ども支援)】助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	かわべ ふっこう ぷろじえくと あるく		
団体名称	川辺復興プロジェクトあるく		
代表者職名	代表	ふりがな	まきはら さとみ
		代表者氏名	槇原 聡美 (印)
ふりがな			
団体住所	〒 倉敷市真備町川辺		
電話番号		FAX	無
設立年もしくは活動年数	平成30年10月		
スタッフ数	有給スタッフ 4名・無報酬スタッフ 0名・ボランティア等 17名		
団体HP(あれば)	HPは無		
FBページ(あれば)	川辺復興プロジェクトあるく		
CANPAN登録(原則必須)	なし・あり(星 っ)【団体ID: _____】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	会計補佐	ふりがな	まつだ みつえ
		担当者氏名	松田 美津枝
郵送物送付先住所	〒 倉敷市真備町川辺		
担当者電話番号(極力携帯番号)		担当者e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN登録	有・なし(予定 月 日頃)
-------------------	--	--------------------	---------------

申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	あるく DE 学んで・遊ぶ夏休み!
事業概要 (事業内容を簡単に)	長い夏休みに、被災後奪われた安心して夏休みの課題に取り組み遊ぶ場所 お友達と楽しく過ごす時間を提供するための事業
活動(予定)期間	令和1年 7月 1日 ~ 令和1年 8月 31日
活動(予定)場所	川辺復興プロジェクトあるく事務所、隣「フリースペースてくてく」及び川辺分館
受益者数	直接受益者 (300 名) 間接受益者 (300 名) ※いる場合(母親など保護者)
事業の必要性(背景)と目指すゴール(目指す状況) <ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況(支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入) ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか <p>川辺地区は昨年の豪雨災害において、ほぼ全戸被災した。子どもたちを持つ親子も、みなし仮設などに分散しバスでの通学を余儀なくされている。そのため、子ども同士で遊ぶ時間や場所もない(小学校も被災しているため立ち入れなくなっている、工事車両の行き交う危険、被災家屋の解体が進み閑散とした地域)などストレスや問題を多く抱えている。安心して被災前のように自由に遊べる環境にないことから、夏休み(長期休暇)の子どもたちの見守りと学習支援、居場所づくりを計画した。発災前から活動していた、小学校の子どもたちへの学習支援(補助)通学時の見守り活動ボランティアをしていた地域の人たちを中心に(顔の見える関係)支援活動に入ることで、保護者も安心して預けることができる。お互い声をかけあえる地域を目指すことで安心して子育てができる町になる。子どもたちを見守ることで、地域の支援者との世代間交流が生まれ、お互いを尊重し、助け合いのできる町になる。このような関係づくりが繋がりとなり、防犯対策になり、顔の見える関係づくりができれば防災に強いまちづくりとなることを目指す。</p>	
事業の実施内容 <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことをいつ(回数等)やるのか <p>お抹茶を楽しむ会(発災前から放課後支援として開催されていた)7月22日 楽しく絵を描こう7月24日、26日、29日、31日 習字(夏休みの課題)7月23日、25日 竹を使って遊ぼう!!(外部支援ボランティア)7月30日、8月8日 料理教室(栄養改善協議会と共催)後木のおもちゃで遊ぼう(外部ボランティア)8月1日 地域の人たちによる学習支援8月2日、5日、7日、9日、19日、20日、26日、27日 地域の人たちとイベント8月1日、6日、20日、21日、22日、23日、 新聞記者、ライターさんによる作文、感想文の書き方ワンポイントアドバイス8月9日 7月8回 8月21回 計29回</p>	

事業の実施体制

- ・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

主催 川辺復興プロジェクトあるく

通常、外部ボランティアからの提案による支援事業、ホッとカフェ、小物づくり、初心者スマートフォン講座などの受け入れ、開催と運営をしている

地域支援 小学校学習支援者、放課後子ども教室メンバーの有志、地域見守りボランテ、栄養改善協議会
まちづくり協議会、青少年健全育成の会
アトリエ原、習字支援伊原、硬筆支援岩尾

外部支援 松原龍之（岡山経済新聞ライター）

北山紀明（古民家再生大工）

中村真教（社会福祉士、裏千家）

岡山県立大学 COC+推進室域学担当コーディネーター村井聡紀

中央大学ボランティアセンター開澤裕美

真備児童館

事業実施後の展望

- ・助成期間後も活動を継続する場合はその内容や展望
- ・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

今回の経験を基に、成果を検証し、子どもたちを見守る体制作りを継続していきたい。

助成期間後も長期休暇期間中はもちろん、日常のほっとできる居場所、安心して集える場所を目指し活動と運営を継続していきたい

昼間は大人のサロン活動、夕方は地域が見守る子どもの学習支援や場所となる施設を目指していきたい

その他

- ・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

この事業に当たり、小学校との情報交換を行い、夏休みの子どもたちの過ごし方を共有し見守る体制をつくることとなった。よって、活動内容や申込書などを小学校から配布してもらった

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。

実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）（8月1日～8月31日）	276,270	
自己資金（7月1日～7月31日）	93,487	
受益者負担（参加費1回100円～300円）×300人	30,000	
合 計	399,757	

2) 本事業の支出

費 目（必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
事務局人件費 （コーディネイト料）6,000円（1件につき準備～当日の対応6時間） （7月分8件）=48,000円（8月分21件）=126,000円	48,000 126,000	
講師交通費 （7月）500×12人=6,000円、8月500×67=33,500円	6,000 33,500	
材料費（活動消耗品） 7/22 お抹茶の会（8,100）7月かき氷（5,407）紙コップ、カップ、箸、スプーン（10,000）7月（文具・玩具10,580）8月お菓子材料費（10,000）8/21材料費（10,000）8/22（サンドイッチ材料7,000）お菓子・おやつ（100円×220人=22,000）裁縫道具（糸、針7セット×500円=3,500）硬筆教室用文具（サインペン、ボールペン、鉛筆など3,000）原稿用紙など文具1,000円	(7月) 34,087 (8月) 56,500	
事務費 コピー用紙（A4ホワイト5冊×270=1,350円）	1,350	
印刷製本費（チラシ・資料作成 プリンターインク（6,000円×2）	12,000	
保険料（行事保険行事保険7月560円×8回=4,480、8月560×14回=7,840）	12,320	
活動備品費（おやつ作りに使用するホットプレートなど25,000円）活動玩具（5,400）図書購入費用（10,000）	7月5,400 8月29,600	
その他事務局会議費	5,000	
雑費（消耗品等）	30,000	
合 計	369,757	

備考欄

--